



残暑厳しい日が続いていますが、子どもたちは暑さに負けず元気に虫捕りをしたり、園庭でお友達と走り回ったりしています。

にこにこ通信 3号では、荒井幼稚園で行われた「手洗い指導」の様子をお知らせしたいと思います。加古川健康福祉事務所食品衛生協会と食品薬務衛生課のお姉さんが来られて、荒井幼稚園の園児たちに手洗いの大切さを教えて下さいました。

☆ねらい☆

- ・衛生面に気を付けて、元気に過ごす
- ・紙芝居や絵本で、手洗いの大切さを伝える



ホールに入ると、背筋をピンと伸ばした子どもたちが、わくわくしながら待っていました。すると、お姉さんから「大切なのは、手についたばい菌をしっかりと落とすことです。目には見えなくてもみんなの手にはばい菌がたくさんついているよ。せっけんでしっかりとばい菌をやっつけよう！」と、みんなの大好きな“ばいきんまん”と“かびるんるん”のペープサートでお話がありました。続いて、ホールが暗くなると、プロジェクターを使って『れん君とあわりいの大冒険』のライドショーがはじまりました。れん君の手についているたくさんのばい菌が、あわりいによって退治されていくイラストが可愛くてわかりやすく、みんな夢中でした。



お話が終わった後は、お姉さんと一緒に手洗いの練習です。手洗いの歌に合わせて、手首くるくる、爪の先、指と指の間もしっかりゴシゴシ。さあ、準備はオッケーです。ブラックライトに反応するクリームをばい菌に見立てて手に塗り、手洗いをしました。手洗いの歌に合わせて、せっけんでごしごし♪
ばい菌をきれいに洗えたか、ドキドキしながらブラックライトに手をかざすと、指先や手の甲など、洗にくい部分が青く光っています。「うわあー、いっぱいひかっている」と自分の両手をまじまじと見つめている子どもたち。5回も洗い直しをしてやっと「きれいになったね」と合格をもらって笑顔いっぱいの男の子。また、1回で合格をもらった女の子に秘訣を聞くと、「じかんをかけてあったよ」と教えてくれました。
みんなよく頑張りましたね(*^-^*)



コロナ禍で手洗いの大切さが重要視される中、今回の手洗い指導は、子どもたちが自分を守る事を学ぶ良い機会となったのではないのでしょうか。おうちに帰っても一生懸命手洗いをする子ども達の姿がみられると思います。
荒井幼稚園では、手洗い指導の経験を生かして、今日も丁寧な手洗いを継続していきます。



🍷 園長先生にインタビュー

🍷 荒井幼稚園はどんな園ですか

園長先生 「子どもたちは、豊かな環境の中で様々な経験をし、元気いっぱいお友達と遊んでいます。」

園では、各家庭と密に協力し合い、地域に対して色々な情報を発信して見える化を図っています。また、ふれあい保育は3歳児以上のお子さんだけでなく、保護者の方の要望に応え、2歳児から実施しています。」



🍷 子どもたちが大好きなお弁当・給食についてお聞かせください

園長先生 「荒井幼稚園では、4歳児は愛情のこもった手作りのお弁当を、5歳児になると、小学校へのスムーズな移行ができるように、毎週火曜日と金曜日に小学校給食を食べています。給食のメリットは、温かいご飯が食べられる、おかわりができる、栄養士がバランスを考えて献立している等たくさんあります。」

🍷 人気メニューは何ですか

園長先生 「みんなが大好きなカレーライスです。残さず食べていますよ。」



まだ給食に慣れていない様子の5歳児の子どもたちでしたが、自分で食べられる量を考えて少なくするなど、調整していました。先生やお友達と一緒に食べることで、普段は苦手な食材も残さず食べているようです。また、給食を食べることによっていろいろな食材や味に親しむことができますね。

高砂市の食育の一環として幼稚園から給食に慣れることは、5歳児の小学校進学への意欲や期待にもつながると思います。